



なかがと ふみのり  
講師：中里 文計 氏

栃木県 総合政策部 次長兼総合政策課長

昭和56年 栃木県職員採用  
平成21年 議会事務局政策調査課主幹兼課長補佐（総括）  
平成22年 総合政策部総合政策課秘書室長  
平成24年 産業労働観光部工業振興課長  
平成26年 栃木県東京事務所長  
平成27年 総合政策部次長兼総合政策課長

日 時：平成28年2月10日(水)

8：00～9：00

会 場：宇都宮グランドホテル 扇の間

参加者：65名

### 【講演要旨】

昨日、栃木県の来年度の当初予算案を発表させて頂き、知事が「二つのエンジンの出力を最大限に発揮できるように予算を組んだ」と述べましたが、この二つのエンジンというのは「とちぎ創生15戦略」、「とちぎ元気発信プラン」でございまして、県政の舵取り、出力を上げて、栃木の豊かさを実現していく、という形で今後5年間は進めていく、ということによってエンジンという言い方を知事は使わせていただいたところでございます。

### 【とちぎ創生15戦略】

人口減少社会に対応して、まず人口減少をどのように食い止めて地方を再生していくかでございます。栃木県の人口も200万人をピークに今、減少期に入っており、減少の理由は、女性1人が生涯に何人子どもを産むかという数字でございます。人口を維持するためには、合計特殊出生率が2.07ないと人口は維持できないというところでございますが、現時点では栃木県では1.46程度ということでございます。

また社会動態では、毎年県外に転出される方が大体平均で2000人の超過ということになっております。このような傾向がこれからも続くとなると、2060年には栃木県の人口200万人が120万人を下回るのではないかとというような推計がされます。まず、若い人たちにアンケートを採った結果、なぜ子どもを産まないか聞いたところ、最大の理由が経済的な問題ということが一番でしたので、基本目標①「とちぎに安定したしごとをつくる」を掲げました。

それと毎年2000人無条件で出て行ってしまいう人をなんとか栃木県内に止めることも含めまして、基本目標②「とちぎへの新しいひとの流れをつくる」を掲げました。

さらに、そこまでですと社会増だけですと、やはりどんどんお子さんを産んで栃木で育ててもらおうということで、基本目標③「とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる」を作りました。

そして現在、住んでいるところでそのままずっと住み続けていただく、消滅可能自治体をなくして、今住んでいるところでずっと安心で便利に暮らしていただくという形で、基本目標④「時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る」を作らせていただきました。

**【とちぎ元気発信プラン概要版】**

21世紀の中頃を目指して、栃木をどのように作っていくかということ念頭に置きながら「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」を目指して頑張っていく、という形で作らせていただいています。

そのとちぎの将来像の実現に向け、「すべての県民が担い手として協働する」、「すべての地域が連携・協力する」、「すべての分野でとちぎの魅力を磨き上げる」、この3本の基本姿勢のもとに、5つの戦略、特に人づくりについて中心にしながらか進めていくという形で作らせていただいているところで、その5つの重点戦略の下に18のプロジェクトを設けて進めて参ります。

ここで一番よく聞かれるのが、「15<sup>いちご</sup>戦略と元気発信プランの違いは何ですか」というところでございます。まず、とちぎ元気発信プランというのは、県政全般にわたって進めていく重点的な取り組みについてまとめたものになります。その中でも特に重点的に取り組んでいくものが、この「とちぎ元気発信プラン」でございます。そのうち、町と市の創生のために必要な部分に横串を刺して抜き出したのが「とちぎ創生15<sup>いちご</sup>戦略」という形になります。

それでは、「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」、というのは具体的にどういったものか、イメージとして湧きづらいと思いますが、一言で言いますと、全ての分野で選ばれる“とちぎ”を作っていく、という形が根源でございます。全ての分野において何かあった時は“とちぎ”を選んでいただく。

そのためにはどうしたらいいか、ということで真っ先に思いついたのが、ブランド力の向上というところでございます。新聞等でもご存知かと思いますが、昨年9月のブランド総合研究所の全国都道府県別魅力度ランキング、栃木県は35位ということで、前年の41位から6位ランクアップいたしまして、北関東の中ではひとつ頭抜けたかなというところで

ございます。これを維持してさらに上を目指していくことによって全ての分野で選ばれる栃木が実現できるというところがございます。このブランド力の向上、ブランド発信につつまして、初めて重点戦略の中に位置づけさせていただいたということでございます。

そして新たに「ベリー グッド ローカル とちぎ」というキャッチフレーズのもとにブランド向上のための施策を進めさせていただこうと思います。ローカルというのは単に田舎じゃなくて、その地域地域にいろんな良い物があってそれを感じる。「ベリー」は当然「いちご」に掛けています。総合政策課の中にとちぎブランド戦略室という組織を作ることになりました。

**【平成28年度当初予算案の概要】**

一般会計予算の総額が、8181億6000万円ということで、今年度に比ばまして70億円ほど伸びております。主な事業として、結婚サポート、ワークライフバランスで特に女性の活躍する場の提供、産業の振興部分で県の産業技術センターの中にあるマイクロテクノロジーラボでの今後成長が見込めます航空機分野における試験研究の支援、ものづくり技術強化補助金、新たな成長産業の創出・育成ということで、ロボットとヘルスケアの振興、企業立地推進補助金の一部新規、とちぎU I Jターン促進、とちまる就職ナビ等でございます。

これが本日お集まりの皆さまに特に新たな情報としての予算の中身かなということで、雑駁ではございますがご説明させていただきました。この他、新たな、例えば子育てのための支援とか、栃木の創生に向けた新たな予算、さらにTPPとか、企業の皆さまの輸出促進のための予算案を2月補正、あるいは当初予算に組んでございますので、そのようなものを積極的に活用してこれからも引き続き栃木の振興のためにご努力をいただければと思いますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。とちぎ創生と平成28年度当初予算案の概要についてお話をさせていただきました。どうもありがとうございました。



講師：司 淳 氏

S M B C 日興証券株式会社 投資情報部 部長

昭和36年 福岡県小倉生まれ  
昭和61年 関西学院大学経済学部経済学科卒  
同 年 日興証券入社  
昭和63年 (旧)大蔵省 財政金融研究所に研究員として出向  
平成2年 日興リサーチセンターに復帰し、事業戦略部、  
国際  
市場分析部、金融経済調査部など経て、現在に  
至る

日 時：平成28年3月9日(水)  
8：00～9：30

会 場：宇都宮グランドホテル 扇の間  
参加者：65名

#### 【講演要旨】

皆さんおはようございます。ご紹介いただきました、S M B C 日興証券の司と申します。どうぞよろしく申し上げます。

まず、タイトルは『投資環境と市場見通し』、サブタイトルは『アベノミクス第2ステージの真価』と題しました。国内景気は回復しましたが、デフレマインドが残り、消費も投資も弱いままです。アベノミクス第2ステージの真価とは二つあり、それは①デフレ脱却できるか、②グローバル化に対応できるか、ということです。

カギを握っているのは、サービス業の生産性革命であり、革命と呼ばれるほどの改革が必要だという意味です。

#### 【最近の主要市場の動向】

波乱の幕開けとなった2016年。昨年末からの金融市場の混乱は、1ヵ月半以上も続きました。その背景は、米国が利上げに向かう中、中国経済の減速基調や原油安などを反映した世界経済の減速懸念でした。現在の市場はその修正局面にあります。本格的に反発するためには、人民元相場や原油価格の下げ止ま

りに加えて、実体経済が底堅さを示す経済指標を確認する必要があります。従って今年の半ばまでは、景気も株価も上値が重い状況とされますが、後半には、好調な内需に支えられた先進国経済が牽引し、世界経済や株価は再び浮上していくと思われれます。

#### 【G20財務相・中央銀行総裁会議】

G20会合でのポイントは、市場価格が世界経済の実態に比べて下げ過ぎだと明確に認められたこと、経済政策は金融政策から財政政策に重心を移すべきだとしたこと、為替政策は慎重に目配りしながら利上げや追加緩和を容認したこと。構造改革の監視は改革を加速させるインセンティブになり、資本移動の監視強化も有効性が高いとみられます。

#### 【国内政治情勢】

首相官邸は我々の予想より常に先手を打とうとしているようです。2017年に消費税を増税し景気が悪化すれば、衆院を解散できないでしょう。やはり消去法で2016年の参院選の年に解散を当てるしかないとすると、ダブル選挙のほうが有利と考えるでしょう。

消費増税の先送りは、5月辺りに政治決断する可能性が高いとみています。

#### 【アメリカ経済見通し】

米国経済は、製造業の景況感は弱いですが、賃金は上昇し始めました。失業率も右肩下がりで改善を続けています。このため米国経済

は、腰が強くなっていると言えます。

このため米国の利上げは、今年中に2回行われると予想しており、1回も織り込んでいないドル円相場は年後半にはドル高円安の方向にしっかり方向感が出てくると思います。

#### 【原油相場見通し】

原油安の背景には、世界的な需要減観測など供給過剰懸念があります。原油安の影響により先進国など輸入国にはコスト安というプラス効果があります。しかしマーケットはプラス効果を無視していて、マイナス効果の方ばかりを見ているようです。

世界経済の不透明感が後退し、原油需給見通しが上方修正されていけば、気の早い向きには来年の終わりではなくて、来年半ば頃に原油の需給バランスがプラスに転じるとの見通しが出てきてもおかしくないでしょう。

#### 【マイナス金利導入】

この狙いは、実質金利を下げることです。そのためには名目金利を下げるか、期待インフレ率を上げるかのどちらか、あるいは両方が必要です。名目金利引き下げの「限界説」を打破したという意味では画期的なものです。この結果、実質金利が下落し、投資や消費を刺激することになるでしょう。マーケットがまだ下を向いていたままでしたので、円安に戻るはずでしたが、円安は一時的にとどまり、再び円高に向かいました。マイナス金利で金融機関の収益が悪化するとの見方から株価も下落するなどの動きが強まりましたが、しばらくたてばプラス効果が意識されるようになるでしょう。

#### 【日本市場の見通し】

世界経済の減速懸念が残っており、足下の円高に伴う先行きの業績不安があります。しかし、内外の経済政治情勢など先行きの投資環境は改善方向に修正されていくと予想しており、それにつれて株価も上昇基調に向かっていくでしょう。今年の前半については、株価の予想レンジは上下にかなり幅広く見えます。レンジの上限を超えてどんどん上昇していくとは見ていません。しかしながら、年後半になっていき、景気の先行き不透明感が払拭されていくにつれて、株価はしっかりし

ていき、年末に向けて上昇基調がはっきりしていくでしょう。

#### 【アベノミクス】

アベノミクスといえば超金融緩和だけが話題に上ることが多いですが、「すべての経済政策をとるべきだ」ということがG20で改めて共同声明に盛り込まれました。アベノミクスは、第2ステージに入っており、去年の夏に新成長戦略として『日本再興戦略 改訂2015』が策定されました。日本経済再生のカギはサービス業の生産性革命にあります。日本の未来は、サービス業の労働生産性上昇にかかっていると言ってもいいでしょう。これを今、政府は全力で成長産業に引き上げようとしています。

#### 【中国経済見通し】

中国経済は、短期的には楽観的に、中期的には悲観的に、長期的には中立で見えています。最近では中国経済が先行きどんどん悪くなっていくと見る人が多いですが、厳密には期間によって見方を変える必要があるということです。短期的に楽観視しているのは、事前に財政・金融政策を打ってきたためです。しかし、中期的には、人口減少下で構造改革を断行していけば、中国の経済成長率は、5年ごとでみて1%ずつ程度低下していくと見えています。

#### 【世界のリスク要因】

世界にはリスク要因がまだ残っています。たとえば米国の影響力が弱まる中、欧州の閉鎖性や排外主義が強まること、中東情勢の深刻化、一方で中国の成長減速が響いて原油価格の低迷が続くこと、中国が海洋進出など軍事面で影響力を増大していく可能性もあります。新興国経済の回復が一段と遅れ世界経済に一段と悪影響を及ぼす可能性もあります。こうしたリスク要因に引き続き注意が必要です。

#### 【終わりに】

短い時間でございましたけれども、以上で私の話を終わらせていただきます。

どうも最後まで、ご静聴ありがとうございました。

# 地域活性化支援実行委員会 絵画コンクール表彰式

委員長 酒井 誠 (株)酒井建築設計事務所 代表取締役社長

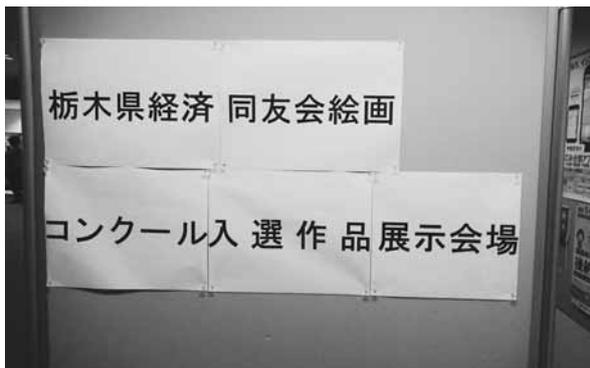
当委員会では、平成27年度も県内の小学生による絵画コンクール「熱気球のある風景」を実施した。6回目となる今回は、県内21の小学校から合計430作品の応募があった。

毎年、鬼怒川河川敷道場宿緑地で開催されていた「とちぎ熱気球インターナショナルチャンピオンシップ」の会場にて入選者へ表彰状・副賞の授与式を行っていたが、平成27年度は、下記にて作品展示会及び表彰式を行った。

〈展示期間〉平成28年1月12日(火)

～平成28年1月24日(日)

〈場 所〉うつのみや表参道スクエア5階  
宇都宮市民プラザ (展示スペース)



今回、入選作品を展示した宇都宮市民プラザは宇都宮の中心地にあり、普段から訪れる人も多く、たくさんの方に見ていただくことができた。

〈表彰式日時〉平成28年1月16日(土)

11:00～11:30

〈場 所〉うつのみや表参道スクエア5階  
宇都宮市民プラザ (展示スペース)



表彰式当日は受賞した生徒のほか、両親や兄弟、祖父母等の約50名が参加した。酒井委員長から受賞した生徒1人1人に賞状と副賞が手渡された後、「今回で6回目の絵画コンクール。430点もの作品を応募していただきありがとうございました。その430作品の中から、ここにいる皆さんが見事入選されました。この絵画コンクールは、次世代の子どもたちに熱気球の魅力を理解してもらい、子どもたちの心に残り、そして栃木県の活性化に貢献できればありがたいと思います。入賞された皆さん、本当におめでとうございます。」などとのあいさつがあった。



## 平成27年度 各委員会研究会の正副委員長会議

日 時：平成28年 1月28日(休)

場 所：ホテルニューイタヤ南館3階  
「蓬莱の間」



平成27年度各委員会・研究会の正副委員長会議を開催した。小林筆頭代表理事の挨拶の後、各委員長・会長が平成27・28年度の活動報告の概要について発表をした。以下は、小林筆頭代表理事挨拶、各委員会・研究会の発表要旨。

### 【小林筆頭代表理事 挨拶要旨】

「地方創生」は、地域経済の活性化であるとする。皆様には委員会活動を通して様々な角度から地域経済の活性化に向けた調査研究を進めていただいているところだが、具体化を進めるに当たっては「産学官金労言」のオール栃木体制での取組みが不可欠なので、今後も各委員会が多様な主体と連携しながら活発に議論することを期待する。



### 【産業政策委員会】

平成27年度はトップセミナーやシンポジウ

ムを開催し、女性活躍推進の気運醸成を図り、女性起業家を輩出のための取組について研究を行った。次年度は女性起業家を輩出し易くする仕組みとして、若年層（高校生・大学生）からアントレプレナーシップを育むような事業展開を検討。

### 【地域振興委員会】

栃木県の総合戦略や地方創生に関する講演会を開催し、インプットした情報をもとに委員会内でディスカッションを重ね、「トチギの未来・夢計画」を作成する。20年後、30年後を見据えて持続可能な街（地域）にするためには、今何をすべきかを考察し、最終的には明るく楽しい“夢計画”として提案していきたい。

### 【経営問題委員会】

今年度は中小企業間の連携手法について多面的に学んだ。具体的には、国や栃木県の施策、富士ゼロックス社と中小企業の連携や神奈川県の中企業の連携支援施策について学んだ。引き続き、「現場・現物・現実」に基づき、連携手法について多面的に学びながら、連携の効果・意義について議論を重ねていくこととしたい。



### 【社会問題委員会】

平成27年度の調査・研究を通じて、栃木県は若い女性（20～24歳）の首都圏への流出が顕著であることが分かった。

要因の一つに就職のタイミングで栃木に戻って来ないことが考えられる。平成28年度は、若い女性が「就職時に何故戻らないか、如何

にしたら戻ってくるのか」について議論を重ねながら、提言書の提出に向け取り組む。

#### 【国際化推進委員会】

「トビタテ！留学JAPAN」プロジェクトの更なる拡充のため、「航空宇宙産業分野」をテーマに打ち出している三重県視察を実施。三重県庁、中部経済同友会、三重県の航空宇宙産業2社を視察した。今後は大学コンソーシアムとちぎや栃木県と連携して「トビタテ！留学JAPAN」の継続支援をしていく。

#### 【社会貢献活動推進委員会】

中学・高校への講師派遣事業等の実績を発表した。また、講師派遣先進地である東京の経済同友会メンバーとの意見交換会等を実施。次年度は、講師のレベルアップに努めながら、引き続き講師等の派遣事業を行う。また、6月には栃木県で5県交流会が開催される。会員皆様の御協力を仰ぎながら、交流会の成功に向けて取り組んでいく。



#### 【行財政改革委員会】

ITを活用した地域医療システムを導入している函館市の視察や「空き家問題」に関する講演会を開催し社会構造の変化について学んだ。また、ビッグデータの活用を見据え、地域経済分析システムRESAS（リーサス）の勉強会を実施した。これまでの調査研究活動から、活動テーマに対して雇用維持・確保（ひと・しごと）の問題を含め、企業活動と産業政策が連動した自治体のあり方をまとめることとしたい。

#### 【地域活性化支援実行委員会】

「県内4プロ観戦ツアー」を実施。また、先進地域視察として、米国ロサンゼルス（L.A.）のNBAロサンゼルスレイカーズの試合観戦や、ホームスタジアムの規模や仕組み、選手専用のロッカーを視察した。平成28年度は、引き続き4プロスポーツの支援や先進地の視察を実施する予定。また、作新大学が主催する第1回マロニエプラザ栃木プロスポーツ祭に参加の予定。



#### 【未来経営研究会】

優れたリーダーシップの獲得をテーマに掲げ、栃木県内外・国外の有力企業の視察や講演を実施し、優れた経営者のリーダーシップを実感した。また、2月には台湾視察を実施する予定。引き続き、栃木県外・国外の優れた経営者のリーダーシップを学ぶこととする。併せて、会員相互の親睦を深めていく。

#### 【栃木交流研究会】

平成27年度は「知られざる栃木の魅力」という視点で、「再発見」「新発見」を求めて視察を実施した。具体的には、日光・湯西川、自衛隊・富士重工業、栃木レザー・いちご研究所の視察を実施した。また、マスコミを活用した周知活動についても検討を開始した。引き続き、栃木県内の名所、旧跡等の視察を中心に本県の理解を深めるとともに会員相互の親睦を深める活動をしていく。また、「栃木の魅力」の情報発信の一環として、4月からテレビ番組「同友酒場」を制作・放送する予定。

## 中学校高等学校への講師派遣事業

社会貢献活動推進委員会委員長  
生方 玉也 (株)エイム 代表取締役

### 第9回講師派遣



日 時：2月2日(火) 14:00～15:00

会 場：宇都宮市立一条中学校

対象者：2年生、教職員、保護者 約150名

講 師：古口 勇二氏

(株)古口工業 代表取締役

演 題：『自分の将来を考える』

#### 【講話の概要】

#### 「立志式を迎えて」

「上を見て手を伸ばしてください。何か触れましたか?」「今度は下を向いて手を伸ばしてください。床にすぐ手が付きましたね。」上は皆さんの未来、下は過去。過去はすぐに触れるが、未来は手で触ることができない。つまり、未来は何も決まっていない。立志式を迎えた2年生の皆さんは、夢や目標を胸に抱いたことと思うが、ぜひとも実現させてほしい。

#### 「人として必ず守ってほしいこと」

皆さんに人として守ってもらいたい3つのことがある。①「うそを言わない」②「人の悪口を言わない」③「時間や約束を必ず守る」。これは社会人としての基本であり、大切なこと。

また、自分の子どもにいつも言っている3つのことがある。1番は「あいさつすること」。2番目に「感謝すること」。3番目に「勉強すること」。この3つの頭文字のアルファベットを並べると「A(あいさつ)K(かんしゃ)

B(べんきょう)」になる。この「AKB」も、大切なこと。「挨拶・感謝・勉強」を忘れずに、中学校生活を送ってもらいたい。

#### 「人生はファンをつくるゲーム」

皆さんはきっと「おぎゃー」と泣きながら生まれてきたと思う。だけど、両親や周囲の人は、生まれてきた皆さんを見て、みんな笑顔になったはず。逆に死んでいくときは、その本人は笑っていて、周りは泣いてくれているというのが最高の人生。そのためにも、人生でどれだけ自分のファンをつくれるかが大切なこと。

皆さんにも憧れの人がいると思うが、その人には、何かしらの魅力があるはず。では、自分の魅力を高めるにはどうしたらいいか。それは、「一生懸命に自分を磨く」ことである。



#### 「簡単なことを完璧にできるまでやり続ける」

阪神の金本監督が、「1軍に入りたいなら毎日バットを3000回振ることだ。それでも入れなかったら4000回振ることだ」と話していた。これはとても重要なことで、「自分の腕を磨く」ということは「出来ないことを出来るようにする」こと。そして、「出来るようになったら、それが完璧にできるようになるまで徹底する」こと。そこまで努力をしてもらいたい。よく「自分には無理、出来ない」という人がいるが、それはやっていないだけ。やろうとしていないだけ。一生懸命に努力を積みば、必ずできるようになる。あきらめないうで頑張ろう。一生懸命に自分を磨き続け、たくさんのファンをつくって、すばらしい人生を歩んでほしい。

## 第10回講師派遣



日 時：2月2日(火) 13：45～15：35

会 場：宇都宮市立雀宮中学校

対象者：1年生、教職員 約30名×2時限

講 師：吉田 恭平 氏

(株)ダイニチ 代表取締役

演 題：『働く人に学ぼう』

### 【講演会の概要】

#### 「自己紹介」

自分は、富岡製糸場がある群馬県・富岡の出身。仕事はキュービクルと制御盤、分電盤などを設計・製作している。この雀宮中学校の中にも、うちの会社の分電盤が使われている。

#### 「思い出のトランペット」

自分が中学生の頃、吹奏楽部に入っていた。どうしてもトランペットが欲しかったが、6人兄弟の末っ子で、お金がなかった。新聞配達を10ヶ月続けて、念願のトランペットを買った。もう50年も経って古くなってしまったが、今でも私の大切な宝物である。



#### 「2枚の卒業証書」

高校卒業後、神戸製鋼に就職し、親元を離れた。6人兄弟の末っ子だったこともあり、すぐホームシックにかかった。桜を眺めていると、自然に涙が流れてきたのを覚えている。

大企業だったので、給料はそれなりにもらっていたが、言われたことだけをやる仕事に対して疑問を持ち始めた。結局10ヶ月後に会社を辞め、以前とは違う学科の定時制高校へ入った。だから私には高校の卒業証書が2枚ある。

#### 「栃木県民気質」

群馬の大学を出て就職し、結婚もしたが、すぐに宇都宮への異動を言い渡され、営業の仕事をして一生懸命頑張った。その後独立し、群馬に戻るという選択肢もあったが、営業で築いた仕事の人脈を生かし、そのまま栃木で仕事を続けることにした。

栃木県人は、よく閉鎖的だと言われる。私も宇都宮に来たばかりの頃は、それを感じた。しかし、一度仲良くなってしまえば、これでもかというくらい応援してくれるし、心強い味方になってくれる。それが栃木県民気質。



#### 「長所も欠点もあるのが人間」

最後に、すべてに長けた人はいない。人間は、良いところ、悪いところがあってバランスが取れているのである。自信をもって、いろいろな経験をして、前向きに生きてほしい。「成せば成る・成さねばならぬ何事も」である。諸君の検討を祈っている。

## 第11回講師派遣



日 時：2月4日(木) 13:25~14:15

会 場：鹿沼市立南摩中学校

対象者：1~3年生 約80名

講 師：大西 盛明 氏

(株)オニックスジャパン 代表取締役

演 題：『自分の進路を叶えるために』

### 【講演会の概要】

#### 「あいさつは大切」

先程みなさんに元気なあいさつをしてもらったが、あいさつは社会に出ても大切である。是非とも継続して欲しい。栃木県内の会社の中で、朝礼のコンクールがあり、19社が出場したが、その中で我が社が優勝した。元気なあいさつや返事を日頃から心掛けている点を評価してもらった。

#### 「私の生き方」

私は努力が何よりも大切だと考えている。生まれてくる環境は自分で選ぶことができない。どんな環境にあっても、努力をし続けることで自分の夢は叶えられる。「昨日よりも今日、今日よりも明日」と自分を成長させていくことである。

#### 「会社の使命」

会社は事業活動を通じて社員の生活を守り、人材育成、社会貢献など、様々な目的を持っている。そして私が会社の使命と考えているのは、会社を継続させること。自分は4代目であるが、その使命を全うしていくのが自分の責任だと思っている。

#### 「夢を叶えるために、今、大切なこと」

自分の夢を叶えるためにみなさんが今やるべきことは、まず基礎学力を身に付けること。「読み・書き・そろばん」は仕事をする上でも基本になる。また、良い人間関係を築いていくこと。人は人によって磨かれるから。それから、良い習慣を身に付けることである。今しかできないことに一生懸命取り組み、力を付けてほしい。

#### 「会社が求める人材」

会社が求める人材とは、あいさつや礼儀など、当たり前のことが当たり前にできる人。その上で、「素直」、「勉強好き」、「プラス思考」の人材が求められている。



#### 「困難に負けない」

みなさんが夢に向かってチャレンジしていく中で、困難にぶつかることが必ずある。人生いいことばかりではない。しかし、それをプラスに捉え、自分を鍛えてくれる試練と受け止めることが大切。悪いときにどう生きるかで、その後の人生が大きく変わっていく。

#### 「夢に日付を付けよう」

みなさんには是非、自分の夢に日付をつけてほしい。「私はいつまでに〇〇になる」と明確にすることで、夢が具体的になり、やるべきことがはっきりしてくる。みなさんの可能性は無限大、しかし時間は有限である。一日一日を大切に生きてほしい。だからこそ、夢に日付を付けて一瞬一瞬を大切にしてほしい。そして、自分の夢が叶えられるように心から願っている。

## 第12回講師派遣



日 時：2月4日(木) 15:00～16:00

会 場：真岡市立真岡西中学校

対象者：1～3年生 約550名、教職員

講 師：生方 玉也 氏

(株)エイム 代表取締役

演 題：『進路を考える

～自己実現を目指して～』

### 【講演会の概要】

「産まれた時は同じ天使なのに…」

人は天子の様に可愛く、穢れのない形で生まれてくる。しかし震災等が発生したときに、ボランティア活動に参加する人・募金活動に協力する人、それとは正反対に人の不幸の際について窃盗するような人がいる。何故このような正反対の行動をするようになってしまったのか考えてほしい。

「方針管理とは」

5年後の会社の目標とする姿を描く。その目標達成の為に今年はどこまで進まなければいけないのか、今月は、今日は何をしたらいいのか。日々の目標を確り達成していくこと。みなさんも、どんな大人になりたいか、どんな職業に就きたいか、そこから逆算して、今日何をやったらいいのか目標を持って一日一日を過ごして欲しい。

「父の言葉」

中学3年の卒業式の日父に言われた言葉。「今日まで善悪は全て教えた。これからは自分の事は自分で判断を。その代り失敗したら自分で責任をとりなさい。自分の顔は自分で

作り上げるもの。自分の顔に責任をもちなさい。

それ以降、家を出るときに毎日鏡に自分の顔を映してから外に出るようにしている。顔には己の心が表れる。会社で疲れて帰っても、鏡に映して輝いている顔で子どもに会うようにしている。

「三つのかけ算」

学校は知識を得る場所。それと共に豊かな人間性を身に付ける時期。充実した人生の基礎を身に付ける中学生の時期は、ものすごく重要。

**経験**×**知識**×**人格**=**成果**

知識と技術は時間と共に付いてくる。重要なのは人間性。いくら経験と知識があっても、人間性がマイナスだと成果はマイナスになってしまう。知識は、勉強・読書…等。何でも好奇心を持つことが大切。人間性は、部活・行事・家庭・友達関係…等。中学生生活を悔いなく過ごす、遊びもとことん。何が起きてても人のせいにしないことが大切。



「何かを成し遂げる人との違い」

夢・目標を持っている。好奇心が強い。姿勢がいい。顔が輝いている。失敗を生かせる。何か情熱をもっている。目の前の事に一生懸命取り組むことができる人。

「みなさんへ」

中学時代はとても大切。中学生生活の全てを楽しんで過ごしてください。失敗を恐れず、諦めず、夢に向かって挑戦してほしい。みなさんの未来が楽しくて充実したものであることを心から祈っています。

## 第13回講師派遣



日時：2月4日(木) 14：40～15：40

会場：真岡市立中村中学校

対象者：1・2年生 約270名、教職員

講師：石崎 倫子 氏

(株)下野新聞社 栃木支局 支局長

演題：『夢を叶えるために

～今、努力すること～』

### 【講演会の概要】

#### 「新聞ができるまで」

記者が行政やイベント、事件事故などを取材して原稿を執筆、本社に送信する。翌日の新聞にどんな記事を掲載するか、どんな扱いにするかを議論する会議を1日2回開催。その後、見出しを付け、紙面をレイアウトする。印刷工場に紙面データを送り、夜12時ぐらいから32万部を約2時間で印刷し、新聞が完成する。梱包されて新聞販売店に届き、遅くても4時ぐらいには各家庭に配達されている。

#### 「就職するまで」

小中学校時代は教師になることが夢。高校では将来を意識しなくなった。部活に入らず、人生で最も勉強したのが高校時代。学校行事にも積極的に参加し、めりはりをつけていた。「比較文化」というテーマに興味を持ち、勉強できる学部がある大学を選んだ。不況で就職氷河期に当たり、下野新聞社だけが拾ってくれたという形だった。

#### 「予想もしなかった記者生活」

全く予想外の業種に就職したため、ゼロからのスタート。入社1年目は400字の原稿を

書くのに3時間かかり、上司に見せると書き直しの指示。書いては直しの繰り返しだったが、先輩の姿を見ていいところを吸収するようにして慣れていった。当時は下野新聞社の迷惑にならないようにという必死な気持ち。今では「読者の代表」「一市民」として取材し、記事を書くことを心掛けている。

#### 「貴重な経験ができるが…」

政治家や芸能人、プロスポーツ選手など普通の生活ではなかなか会えない人を取材できる。しかし、相手の受け答えを聞き漏らすことのないように、取材では一瞬たりとも気が抜けない。すごくプレッシャーのかかる仕事。取材対象については、必ず事前に予習する。



#### 「興味を持ってチャレンジ」

若いときは、無理して夢や目標を持たなくても大丈夫。焦らずに、人との出会い、様々な体験を通して自分に合うテーマが見えてくる。人生は1回しかないので、何事にも興味を持ってチャレンジしてほしい。たとえ失敗しても、誰かが支えてくれるから大丈夫。

#### 「誰かのために」

全く予想のしなかった職業に就いたが、読者のために仕事をしていることがモチベーションになっている。どんな仕事も自分のためにやっている訳ではない。相手に喜んでもらえるような仕事に取り組むことで、そこにやりがいを見出せるし、それが社会とのつながりになる。それを頭の片隅に入れておくことで、これからの中学校生活に変化があるのではないか。

## 第14回講師派遣



日 時：2月6日(土) 9:40~11:30

会 場：足利市立富田中学校

対象者：1年生 37名、教職員

講 師：林 明夫 氏

(株)開倫塾 代表取締役社長

演 題：『働くことの意義と

社会人としての心構え』

### 【講演会の概要】

#### 「今勉強すること」

今後、高齢者が増えてきているので、介護・医療・福祉の仕事に就く方が多いと思う。そうすると理科・数学が役に立つ。パソコンのエクセル・ワードも必要。英語も大切。外国の方も増えているので。パソコンと英語はどんな仕事をするにも重要である。

#### 「仕事とは何か」

仕事とは、お客様の問題を解決することだと思う。例えばお腹がすいたとき、コンビニでパンを買う。コンビニは私の問題を解決する仕事をしてきている。お客様のお役に立つことが、世の中の役に立つことが仕事だと思う。

#### 「人は何のために働くのか」

一つは、お客様・社会の役に立つようにすること。もう一つは、生活できるための収入を得るということ。働くことは自己実現にもつながる。みんなで働いて、社会を支えることが大事。そうすれば仕事を通して、よりよく生きることができる。

#### 「仕事をするときの心構え」

まず、お客様は誰かということ、次に、自分の仕事をはっきりさせること。提示するモ

ノやサービスの価値・意味をよく知ること。競争相手に負けないことも大切。チームプレーが大切。仕事は決して、一人ではできない。チームプレーとは、自分に与えられた仕事は人に頼らないで行うことだと思う。

#### 「仕事をする時役に立つこと」

整理・清掃・整頓・清潔・躰の5つ「5S」が大切。**整理**—いらぬ物を処分する。**清掃**—処分をしたあと掃除をする。**整頓**—モノは同じ場所に置く。**清潔**—それを保つこと。**躰**—一人から言われるのでは無く自分でやること。靴や机の中から5Sをやってみよう。置く場所を決めておけば、モノを探す時間を省くことができる。



#### 「仕事はメモで身に付ける」

仕事には学校と違って教科書がないので、メモが大事。授業中のノートをとるのと同じ。ノートをとるのは、よい練習になる。メモしたノートは後で見やすいように整理し、頭に入れて全て覚える。保存して読み直すことも大切。

#### 「中学の時に身に付けておいた方がいいこと」

仕事に就いてからも整備士・危険物取扱・免許等勉強しなければならないことは山ほどある。だから、中学の時に勉強の仕方を身に付けておいた方がいい。予習や復習、自分で勉強する方法、テストの受け方を身に付けることが大事。最後に私の好きな言葉、相田みつおさんの「一生勉強 一生青春」を贈る。好きな言葉を自分の力で見つけて、素晴らしい人生を送ってほしい。

## 第15回講師派遣



日 時：2月6日(土) 9：40～11：30

会 場：足利市立富田中学校

対象者：2年生 33名、教職員

講 師：松浦富美恵 氏

(医) 北斗会 宇都宮シルバーホーム  
管理部長

演 題：『将来の生き方を考える』

### 【講演会の概要】

#### 「この仕事に就いたきっかけ」

一つめは、中学校2年生の時、道徳の授業で星野富弘さんについて勉強した。首から下が動かないので、口で筆を持ってすてきな絵や詩を書くのに感動して、福祉に興味を持った。こういう人のお手伝いがしたいと思った。二つめは、友達からの相談を受けることが多く、そのたびに友達から感謝の言葉をもらい、相談に乗ってあげてよかったと思った。その友達からの言葉がこの仕事に就いたきっかけになった。自分の将来を考えるに当たって、自分をよく知ること、まわりの人がどう見ているのかを知ることが大切。そして自分に自信をもってほしい。仕事に就くに当たって、できる仕事ではなくて、やりたいと思える仕事に就いて欲しい。何も努力しなくてこうなったのではなく、努力してこうなったと言える人になって欲しい。

#### 「人生は1度きり。」

#### 「やりたいことにチャレンジを」

仕事を始めて4年目に1年間仕事を休み、ワーキングホリデーのビザを取り、カナダへ行っ

た。いろんな国を自分の足で見たい、日本を出て生活してみたいという思いがあった。何が言いたいかというと、常に目標をもって欲しい。目標を達成するためにはどうしたらいいのかを考えて欲しい。もし、目標を達成できなくても、もう一回計画すればいい。だから失敗を恐れなくて欲しい。達成できたときには自分をきちんと褒めてあげて欲しい。目標をもって、それを糧にがんばれる人になって欲しい。みなさんのまわりにはたくさん支えてくれる人がいる、そして、自分自身も、まわりの人を支えてあげられる人になって欲しいと思う。

#### 「恩師からの手紙」

私が福祉の道に進むきっかけになった授業をしてくれた先生からの大学1年生の時にもらった手紙を紹介。学生の本分は、字の如く学びながら生活する事にあるから、努力を惜しまず前に進んでいって欲しいとある。私自身、今があるのは、まわりの支えてくれた人のお陰であると思っている。



#### 「社会で大事なこと」

社会に出たら、人とコミュニケーションがとれることが重要なこと。自分自身を知ること、自分のことを伝えられるのが大事なこと。

#### 「将来を考えると」

自分で何がやりたいか、目的をもって将来を過ごせる人になって欲しい。まずは、高校受験のこと、今の成績でいいやではなく、その先の事を考えて頑張る欲しい。みなさんの将来が素晴らしいものになるように、心から願っている。

## 第16回講師派遣



日 時：2月9日(木) 13:45~14:45

会 場：日光市立藤原中学校

対象者：1・2年生 約120名、教職員

講 師：岸 卓史 氏

(株)栃木銀行 人事部副部長

演 題：『将来の自分の生き方について考える』

### 【講演会の概要】

#### 「やってみたいことは必ず出会う」

今は、勉強・部活動・友達を作る事に全力を尽くして有意義に過ごすことが一番だと思う。そうすることで、やってみたいことに出会い将来の選択肢を広げることにもつながっていくのではないのでしょうか。

#### 「銀行ってどんな仕事？」

銀行には預金・融資・為替の3大業務がある。預金は、お客様からお預かりしたお金を一定期間預かって利息をつけてお返しするもの。銀行からすれば資金を調達すること。その資金を、必要な方にお貸しすること、これが融資。為替は、みなさんよく使われる振り込みなどの業務です。

その他に、付属業務として保険や株式をとおして、資金の運用をしています。

#### 「忘れることができない出来事」

銀行に入って7年目ぐらいの時、ノルマと言われるものがある中、数字を達成する執着心が足りない時期があった。支店長から御指導があるたびに辞めようかなと思った時もあった。そんな時、同じ支店の次長が「とにかく1か月がんばれ。必ず何かが変わるから。そ

の後は、俺に任せろ」と言ってくれた。騙されたと思って頑張った結果、3か月経って、結果が数字に出るようになった。支店長の見る目が変わった。6か月経って信頼を得られるまでになった。今思えば、この経験を通して成長できたと思う。この二人との出会いがなければ、今の私はなかったと思う。

#### 「銀行員としての様々な経験から」

自分に期待してくれる人の期待を裏切るようなことをしてはならない。努力することで、必ず支えてくれる人ができる。そしたら、またその人のために努力する。それを糧に私はやってきた。それが私の銀行員としての生き方なのかなと思う。



#### 「みなさんへ言いたいこと」

- ① 今を大切にしてほしい。まだ、やりたいことに出会ってなくても、焦ることはありません。じっくり決めていってほしい。必ず何かやりたいことに出会うはず。
  - ② 努力を続けて欲しい。今の努力が必ず将来の選択肢を広げていくことになり、可能性を高めていくことになる。
  - ③ 挑戦する気持ちを忘れないでほしい。高い目標であっても挑戦することで、必ず自分を変えられる。そして、成長する。
  - ④ 目標は最後まであきらめないでほしい。必ず支えてくれる人が近くにいるはず。
  - ⑤ 人は一人では生きていけない。必ず誰かから支えられている。
- みなさんが素晴らしい将来を手にするのを心から応援している。

## 第17回講師派遣



日 時：2月16日(火) 13:35~14:25

会 場：那須烏山市立南那須中学校

対象者：2年生 約95名

講 師：大西 盛明 氏

(株)オニックスジャパン 代表取締役

演題：『中・高生時代に身に付けるべきこと』

### 【講演会の概要】

#### 「会社の経営理念」

会社には必ず経営理念というものがある。学校で言えば校訓。我が社の経営理念は、①「お客様に喜んでいただく良い商品を開発する」②「人材を育てる」③「社会に貢献する地域で一番の会社になる」である。社員全員が、この経営理念に向かって同じ方向を向いて進んでいけるように心を配っている。

#### 「自分の学生時代」

中学生の頃は学級委員長や生徒会長も経験した。中学の成績はよい方であったが、進学校の高校に進み、最初のテストでは平均に届かなかった。生徒会長経験者がクラスに10人もいるようなところで、とんでもない学校に来てしまったなと思った。何かの教科で1番になろうかと思い、勉強のスタイルを朝型に変えた。朝4時頃に起きて、朝から2~3時間勉強したが、どんなに勉強しても必ず上がっていた。なかなか1番にはなれなかったが、勉強を頑張ったおかげで大学には進学することができた。

#### 「夢を叶えるために、今、大切なこと」

自分の夢を叶えるためにみなさんが今やる

べきことは、まず基礎学力を身に付けること。「読み・書き・そろばん」は仕事をする上でも基本になる。また、良い人間関係を築いていくこと。社会に出てからも人と人との付き合いは大切。人は人によって磨かれるので、いろいろな方と出会い、良き人間関係を結んでほしい。笑顔や感謝を忘れず、幅広い交友関係を築いてほしい。そして、今のうちから良い習慣を身に付けてほしい。

#### 「プラスの言葉・マイナスの言葉」

言葉には、プラスの言葉とマイナスの言葉がある。プラスの言葉は、「ありがとう」「楽しい」「簡単」など。これらの言葉をたくさん遣うことで、自然と元気になる。逆に、「忙しい」「つらい」「難しい」などマイナスの言葉を遣い続けると、暗い気持ちになってしまう。常にプラス思考で、プラスの言葉を遣うように心掛けてほしい。

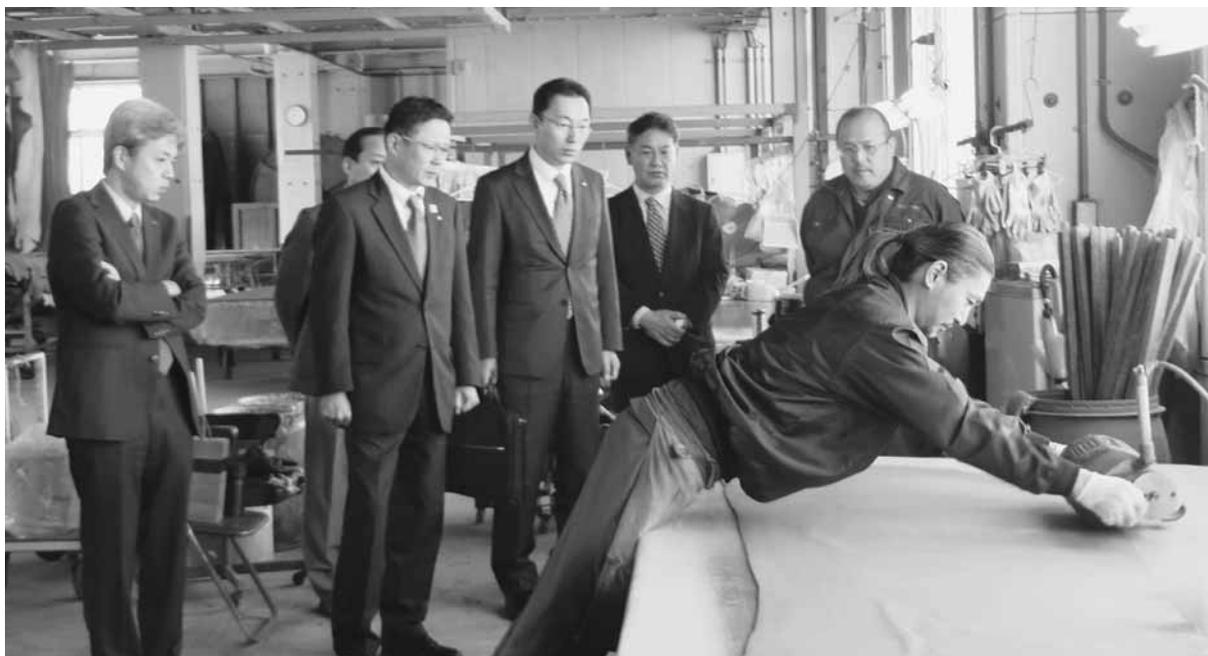


#### 「夢を叶えるために」

みなさんには是非、自分の夢に日付をつけてほしい。「私はいつまでに〇〇になる」と明確にすることで、夢が具体的になる。私も2020年には、オニックスの麺研究所を建てたいと思っている。2024年には70歳でハワイのホノルルマラソンに参加し、完走したい。このように、目標達成のための人生設計を立て、成功するイメージをもって頑張してほしい。みなさんの可能性は無限大、しかし時間は有限である。今を大切に、自分の夢が実現できるよう応援している。

# 栃木交流研究会 第3回視察 栃木レザー(株)・栃木市役所・いちご研究所

栃木交流研究会 会長 関戸 優 (SMBC日興証券(株) 宇都宮支店支店長)



日 時：平成28年2月5日(金)

会 場：栃木レザー(株)・いちご研究所

今年度3回目となる視察は、「世界に誇る～栃木ブランド～」というテーマで、栃木市にある「栃木レザー(株)」と「いちご研究所」を中心に視察を行った。

## 栃木レザー(株)

栃木レザーは、1937年創業の皮革製造メーカー。日本では数少ない「ベジタブルタンニン鞣(なめ)し」を行っており、その評判は国内のみならず、世界の一流アパレルメーカーからオーダーがくるほどの、世界基準の品質を誇る。



栃木レザーで行っている「タンニン鞣し」は、日本で主流となっている「クロム鞣し」に比べ、手間も時間もかかり、完成した「ヌメ革」は水や光に弱いとのこと。しかし、最大の特徴は、そのしなやかさと堅牢性、そして年月を重ねるごとに色が変わっていく経年変化。使えば使うほど味わいを増し、使い込むほどに愛着がわくというのが栃木レザーの「革」の特徴である。

視察は、会社概要などの説明を受けた後、製作工程順に工場内を見学。



①「水洗い」→②「背割り」→③「石灰漬け」→④「フレッシュング」→⑤「脱灰&酵灰」→

⑥「ベジタブルタンニン鞣し」→⑦「水しぼり」→⑧「加脂」→⑨「セッター」→⑩「乾燥」→⑪「革漉(す)き」→⑫「再鞣し&染色」→⑬「再セッター」→⑭「ハンドセッター」→⑮「味取り&乾燥」→⑯「バイプレーション」→⑰「塗装」→⑱「アイロン&仕上げ」→⑲「検品&計量」→⑳「包装&出荷」と、多くの工程が職人の手で丁寧に行われ、世界に誇る品質を産み出す「ものづくり」へのこだわりを肌で感じることができた。



また、1日に900tも出る排水処理については、自社で排水施設を整えており、微生物の力を借りて浄化し、川へ戻しているとのこと。環境に対する配慮もきちんとなされていた。

栃木レザーについては、今回の視察で初めて知ったという会員の方も多く、発見の多い視察となった。

**栃木市役所（喜多川歌麿展）**



「オールウェイズカマヤ」でのランチの後、向かいにある栃木市役所を訪問。栃木市役所は、市役所と百貨店が一つの建物内に共

存している全国でも珍しいケース。東武百貨店に入り、エスカレーターに乗って市役所へと移動。



市役所の4階にて、喜多川歌麿の肉筆画（高精細複製画）「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」3点が展示されているということもあり、見学させていただいた。学芸員の方が、歌麿と栃木の意外な縁について説明くださり、短い時間ではあったが、歴史と芸術に触れる貴重な時間となった。

**いちご研究所**



全国唯一のいちご専門研究機関である「いちご研究所」は、平成20年に設立され、新品種の開発や、新技術の開発、経営やマーケティングの調査分析など、総合的な試験研究を進め、「いちご王国とちぎ」の更なる進化と、いちご業界の発展を目指している。

到着早々、全員に「スカイベリー」と「とちおとめ」の試食体験をさせていただけるというサプライズで歓迎していただき、甘酸っぱいジュシーな味に、いちごのようなさわやかな笑顔が広がった。



いちご研究所の方から、「なぜ栃木でいちご栽培が盛んになったのか」といういちごの歴史に続き、46年連続で日本一（収穫量）を続けている栃木のいちご栽培の現状、一つの品種を誕生させるまでには数年間にわたる開発の苦労があることなど、様々な角度から「栃木のいちご」についてのお話をいただいた。



その後、研究施設であるビニルハウスへ移動し、たくさんの株の中から、有望ないちごの苗を見極め、それらを交配しながら新品种の開発に取り組んでいることなど、実物を見ながら詳しく説明していただいた。



### とちぎテレビによる取材



今回の視察では、新聞社の方に同行していただいたり、とちぎテレビの取材に入っていたり、メディアを活用した情報発信にも力を入れた。

その理由として、栃木交流研究会のテーマが、「栃木県の歴史や文化、観光等に関する調査・研究を行うとともに、『栃木の魅力』の情報発信にも力を入れる」となっているからである。そのためには、新聞やテレビなどのメディアを積極的に活用していこうということで、今回のようなテレビの取材が実現したのである。



関戸会長はインタビューの中で、「栃木交流研究会としては、今後もメディアと連携を取りながら、『栃木の魅力』の情報発信につながる活動を推進していきたい」と力強く語った。

# 地域活性化支援実行委員会 絵画コンクール熱気球係留体験

委員長 酒井 誠 (株)酒井建築設計事務所 代表取締役社長

当委員会では、熱気球大会が栃木の地に根付くことを期待し、県内の小学生を対象に絵画コンクール「熱気球のある風景」を実施している。6回目となる今回は、県内21の小学校から合計430作品の応募があった。

その中で94作品を応募し、見事、団体賞を受賞した野木町立新橋小学校で熱気球係留体験を実施した。

実施日：平成28年2月7日(日)

開催場所：野木町立新橋小学校

参加者：約50名



「那珂川バルーンクラブ」の人たちに、「熱気球はどんな仕組みになっているの?」「どうして飛ぶの?」「燃料は何?」等、質問するなど熱気球に関する研究も熱心に行っていた。

校長先生や担当の先生からは「天候によっては中止になることもある中、実施出来て良かった。子供たちには大変貴重な経験になりました。」との言葉をいただき、有意義な熱気球係留体験となった。



当日は天候にも恵まれ、団体賞受賞式のあと、児童ら約50名が熱気球に搭乗し空中散歩を楽しんだ。初めて体験する児童が多く、「あそこが僕の家!」「近くのスーパーが見える」など普段は見ることの出来ない、空から見える景色に感動していた。

また、搭乗中でも熱気球を運行している



# 未来経営研究会 第4回例会 台湾視察

代表世話人 郡司 祐一（株関東農産 代表取締役）



日 時：平成28年2月18日(木)～21日(日)

場 所：台湾

参加者：23名

## 《視察日程》

日 程	行 程
2 / 18(木)	羽田空港発、空路、台湾へ 夕食：『M』にて日本料理
2 / 19(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■視察1：鴻海精密工業</li> <li>昼食：『杭州小龍湯包』</li> <li>○見学：中世記念堂</li> <li>■視察2：A S U S (エイヌース)</li> <li>●晩餐会：『悅華軒』にて 財団法人 商業発展研究院・ 經濟部商業司・全聯実業との 意見交換会</li> </ul>
2 / 20(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見学：十分、台北101、故宮 博物館</li> <li>○親睦ゴルフ：長庚ゴルフ場</li> <li>夕食：『老乾杯 慶城店』にて</li> </ul>
2 / 21(日)	台湾発、空路、羽田空港へ 解散

### 【開催趣旨】

「優れたリーダーシップの獲得」～未来を創るリーダーたる人間力向上～をテーマに調査・研究活動としている当研究会では、第4回例会の海外視察として、アジア圏の経済交流やインバウンド等において目が離せない台湾視察を実施した。

今回は、“台湾流通業の父”と呼ばれる財団法人商業発展研究所理事長徐重仁氏のお力添えにより、台湾ハイテク産業でシャープ買収が決定した鴻海精密工業、パソコンメーカー最大手のA S U S（エイヌース）の視察を実施した。

また、栃木県と台湾の友好を深めるべく、福田県知事からの親書を徐氏にお渡し、財団法人 商業発展研究院、經濟部商業司、全聯実業の方と親交を図った。

## 1. 台湾

正式名称：中華民国。面積：3万6千平方メートル（九州よりやや小さい）。人口：約343万人（世界53位）。名目GDP：5,300億ドル（世界26位）。主要貿易相手国：中国、香港、日本、アメリカ。主要貿易品：電子電気機械、鉄鋼金属製品。



## 2. 『視察①』 鴻海精密工業

### 【企業概要】

台湾に本社を置く電子機器受託製造（EMS）の世界最大手で、郭台銘会長によって1974年に設立された。各国から電子部品を仕入れ、安価に製品を組み立てる手法で成長。日米の大手電機企業から、スマートフォンやテレビ、ゲーム機などの生産を受託し、アップル社のiphoneの製造を一手に引き受けている。2014年12月期の連結売上高は約15兆円、純利益は約4,600億円に上る。

シャープ買収は、総額3,888億円で正式決定し、2,000億円を有機ELの事業化に向けた研究開発や量産設備に投資する予定。



### 【視察内容】

日時：2月19日(金) 9:30~12:00

場所：鴻海精密工業 交流館

説明者：①鴻海精密工業 人力资源服務総處

訓練發展課 黄 威 氏

②永齡基金会 執行長

劉 宥 彤 氏

### 《人材育成について》

#### I. 新人教育

●有能な数人を選抜し、半年間特別な教育システムを受けさせる。

①中国工場での実務（2ヶ月間）

②企業文化・理論の教育

③様々な部署のローテーション

#### II. 大学との連携

●北京大学、精華大学、MIT等と連携。教授が中国の工場で直接に授業を行い、若手従業員に技術やノウハウを教える。

●ロボット開発等において、若手従業員と大学教授と学生がチームをつくり連携する。

#### III. CEOオフィス

●各部署の選抜者が郭会長と一緒に3ヶ月～半年間一緒に仕事をする鴻海のスペシャルな制度。

●36の技術委員会があり、他部署との横の連携を図れる。

### 《質疑応答》

（質問①）36の技術委員会に社員も自由に参加できるか。

（回答）自由に参加が出来、もし自分の領域以外に興味があったら大学留学も可能。

（質問②）多様性（女性、高齢者、外国人等）について

（回答）先月、女性の総統が誕生したが台湾は女性が活躍しやすい。福利厚生が充実していて、出産したら休暇は勿論、多額の補助金も出る。従業員の家族限定ボーナス支給も

ある。少子高齢化の問題は台湾も同じ課題である。

(質問③) シャープ買収による技術流失懸念

(回答) 1つのブランドしか持ってないと技術流失の恐れがあるが、技術融合できれば世界中のドアがオープンするという考えである。シャープは資金も必要であるかもしれないが、もっと必要なのは、お金でなく、信頼できるパートナーである。

(質問④) CEOプログラムには、何年位で参加出来るのか。どんな内容の研修なのか。

(回答) 郭会長へ好きなテーマの発表会をして認められれば良い。郭会長のリーダーシップはルールがない。レベル階層の意識がない。興味ある若者の条件は、積極的、前向き、どんどんやるタイプ。

(質問⑤) 若年社員が残念ながら失敗したら、すぐチェンジするか、我慢するのか。

(回答) 2つの面がある。1つは、CEOオフィスでは、研究とコミュニケーションの内容なので成功と失敗はあまりない。2つ目は、新しいビジネスチャレンジの部分は自分の成功と失敗は自分で負担する。責任は必ずもたなくては行けない。

### 3. 『視察②』 ASUS



#### 【会社概要】

パソコンのマザーボード（主基板）のメーカーとして1990年に設立。94年に台湾のパソ

コン大手、エイサーの幹部だった施崇棠氏が理事長についた。パソコンでは受託生産を経て自社ブランドに参入、今では売上げの大半は自社ブランド品が占める。

2014年の12月期の連結売上高は1兆6100億円、純利益は717億円。2015年は台湾最大手に躍り出る。パソコン出荷台数世界シェア5位。



#### 【視察内容】

日時：2月19日(金) 15:00~16:30

場所：ASUS本社

説明者：ASUS 人資長 呉崇文氏

#### 《人材育成について》

#### I. 3つのポイント

- ①やりながら学ぶ
- ②間違ったことから学ぶ
- ③失敗したことから学ぶ

#### II. 5つのタスク

- ①目標力②組織力③決定力
- ④管理能力⑤育成力

#### III. 6つのルール

- ①結果②貢献③集中④強み
- ⑤信頼⑥積極性

#### IV. 7つのツール

- ①会議②報告③職務分配④個人的方法
- ⑤予算⑥業績評価⑦適正処理

#### V. OPPとは

- ①オーナーシップ（責任）②パッション（情熱）③パーシスタント（粘り強さ）

#### VI. 重要ビジョン

- ①やってる仕事に価値があるとの認識
- ②企業文化の理解
- ③価値の共有とコミュニケーション

#### 4. 晩餐会

参加者：商業発展研究院・経済部商業司・全聯実業、当会員

徐重仁氏の歓迎挨拶、小林筆頭代表理事の挨拶、謝氏の乾杯挨拶のあと、当会員と親交を深めた。小林筆頭代表理事から、福田栃木県知事よりお預りした親書を徐様にお渡し、中締めでは、未来経営研究会 郡司代表世話人から、お礼の言葉と台湾南部で発生した地震被害に対して義援金をお渡しした。



##### 【徐重仁氏挨拶】

皆さん、こんにちは。私は財団法人商業研究院の徐重仁です。今日、栃木県経済同友会との交流チャンスを頂き、大変光栄と思っています。誠にありがとうございます。

私は台湾の台南出身、1972年日本早稲田へ留学しに行きました。東京に5年間滞在して、日本の先輩たち、仲間に変にお世話になりました。また、米山奨学金を頂き、毎月ロータリークラブの例会に出席し、これによって私が日本社会をより深く知るための良い機会となりました。あそこで、人生の先輩であり、親友である板橋敏雄様と出会いました。板橋様とはそのときから、今でもずっとお付き合いをしているので、このようなご縁を大事にしています。日本時代、沢山の愛と恩を受け、いい人たちにめぐり会えたから、将来いつか台湾と日本の架け橋になり、できる限り社会に貢献できればと思っています。

台湾に戻って、統一グループに入り、セブンイレブンの事業を発足しました。そして、

いくつか日本の事業を台湾に導入しました。日本との関係が非常に深いと言えます。勿論、仕事の出張ではよく東京に行ってますが、実は栃木県とのご縁が更に深いです。3.11地震の後、板橋様から観光人気スポットの日光には観光客が急減することになったと伺いました。何とか日本を応援したいと思ったので、7-11加盟主を連れて日光へ行きました。その時、栃木県の福田知事とお会いしました。2015年10月福田知事が台湾出張の際も、貴重な時間をいただき、交流することができました。これも一つ大事なお縁だと思います。

今回台湾・台南地震の際、沢山の日本友人から沢山の温かいメッセージや電話を頂きました。また、日本新聞ニュースもほぼ終日台湾のことを流していますし、「恩返し支援活動」の声も拡散しています。涙が出るほど感動しました。

人と人の絆は国と時間を超えてと思っています。これから、台湾と日本、台湾と栃木との交流が多くあると思いますが、これからもどうぞよろしくお願い致します。

最後に、栃木県経済同友会の今後の発展と成長を祈っております。



経営問題委員会 第3回委員会  
「M&Aセミナー」  
委員長 吉原 正博 (株カナメ 代表取締役)

日 時：平成28年2月24日(水)

場 所：宇都宮東武ホテルグランデ

参加者：33名

「中小企業間の連携強化」をテーマにしている当委員会では、第3回委員会として「M&Aセミナー」を開催した。今回は大山氏・山田氏の両名を講師にお招きし、近年の中小企業のM&A実例について御講話いただいた。

(第一部)

演 題：「M&Aの時代が来た」

講 師：大山 敬義 氏

(株)日本M&Aセンター常務取締役



M&Aの目的は時代とともに変化している。以前は事業再生型のM&Aが主流であったが、現在は会社を成長させるための戦略としているケースが多い。

●M&Aについて再確認

- ① 会社はそのまま。社名、所在地、取引先、従業員も原則変わらない。
- ② 売り手の大半は黒字企業。企業再生の手段でなく“事業承継と発展の手段”。
- ③ M&Aは会社発展の手段。売手も買手も企業の存続と発展が目的。

今後の日本が直面していく「人口減少問題」は、企業にとって市場縮小(売上減少)・人手不足等の影響が懸念される。そうした社会情勢の中、個々の企業の自助努力ではこれらの課題に対応できない。これらを解決する手段として今後M&Aが増加していくことが予想される。そこでM&Aを会社の売買と行うと失敗をする。会社は“モノ”ではな

く“人”であることからM&Aとは会社同士の結婚、すなわち「自社で出来ないことをみんなでやる」ことである。つまり、M&A成功の秘訣はお互いが同じビジョンを共有する相手と一緒にすることであるといえる。

(第二部)

演 題：「近年のM&A事例について」

講 師：山田 英司 氏

(株)日本総合研究所

総合研究部門部長 主席研究員



今までは、経済環境や事業承継の観点から同業者間でのM&Aが主体であったが、近年では地域創生や産業振興を背景に異業種間のM&Aが増加している。そうした中、下記4つのM&A事例について、案件毎のスキームやメリット・デメリットと課題について説明があった。

- ① 事業承継を意識した統合
  - ・地域における中堅企業の合併
- ② 商品開発力の強化を意識した企業買収
  - ・調達先買収による商品力強化
- ③ 広域連携による事業基盤拡大
  - ・商圈を独立させたままの広域事業連携
- ④ 地域の活性化を目指した多角化
  - ・「地域の活性」キーワードにした事業拡大

M&Aの成否はスピードも重要だが、「スキーム・M&A実施後の戦略・金融機関との連携・人材の活性化」についてももしっかり考えることが、M&Aの成功に繋がる。

～最後に～

具体例を交えながらの講話は、非常にわかりやすく有意義なセミナーとなった。参加者した方々も自社の経営戦略策定等に大いに参考になった。

社会貢献活動推進委員会

## 「第9回社会貢献活動支援助成活動報告会」

栃木交流研究会 会長 関戸 優 (SMB C日興証券株) 宇都宮支店支店長)

日 時：平成28年3月5日(土)

13：30～16：50

会 場：宇都宮大学

峰町5号館 (B-11教室)

参加者：83名 (助成団体関係者等含む)



### 【第9回社会貢献活動支援助成報告会】

栃木県経済同友会では、「少子高齢化対策」や「障がい者福祉」に関する社会貢献団体へ、総額200万円の支援助成を行っている。今回は、その支援を受けての、各団体の活動報告会を開催した。

### 【主催者挨拶】



### 【生方玉也 社会貢献活動推進委員会委員長】

今回の支援助成が第9回目となり、助成額は1,158万円となった。次年度は節目の10回目となるので、今後どのような形で支援を続けていったらよいか、みなさんの意見も参考にしながら、より良い支援、より意義のある

支援になるよう検討していきたい。

今回の経済同友会の支援助成が、みなさんの活動に対してどのように役立ったのか、今日の発表会をとても楽しみにしている。

### 【活動報告内容】

〈支援助成団体と助成金の使途〉 ※発表順

#### ①なつかしの童謡会・おやま

電子ピアノ、椅子、キーボードケース他



#### ②障がい児者支援とちぎ

(みらい・ともに・すすむ)

「栃木バリアフリー映画界」を開催

#### ③マロニエ医療福祉専門学校福祉学部学友会

活動時に着用するビブスの購入



#### ④下野市青少年育成市民会議

「子ども何でも発表会」参加賞 (図書券)

市民会議啓発の名前入りボールペン

#### ⑤食事サービス「さくら草」

電気おかゆ釜、コーヒーメーカー、食器他

⑥認定特定非営利活動法人

「もうひとつの美術館」

展覧会のチラシ印刷、及びチラシ郵送費用



⑦傾聴ボランティア「ほのぼの」

「栃木県傾聴ボランティア研修会」、及び  
小山での「傾聴講座」への参加費用



⑧宇都宮介護者の会

「佐野市在宅介護家族の会」との交流、リ  
フレッシュ泊研修旅行等のバス代

⑨ICC文庫

ピンマイク、大型絵本、影絵制作費用



⑩音訳ボランティア「かわせみ」

プレストーク、パソコン、音声デバイス

⑪特定非営利活動法人「セブナーサリー」

ネットリーダー、マイブック等の購入、他



⑫NPO法人那須フロンティア地域生活支援  
センター「ゆずり葉」

缶バッジ、展示会用の額装、手ぬぐい製作



⑬一般社団法人地域サポーター「 Dank の会」

ウッドデッキ

⑭NPO法人蔵の街たんぼの会

「とちぎおもちゃ図書館」

ボールプール購入



各団体とも5分という短い発表時間ではあったが、それぞれに工夫を凝らした発表を行い、会場は大いに盛り上がった。

## 社会問題委員会 第3回委員会 東京視察

委員長 上野 勝弘 (上陽工業㈱ 代表取締役)

日 時：平成28年3月8日(火)

場 所：明治大学、栃木県育英会学生寮

参加者：8名

「少子化対策」をテーマにしている当委員会では、東京の女子学生の就職志向を調査することを目的に第3回委員会を開催した。

(第一部)

視察先：明治大学就職キャリア支援部

内 容：「近年の女子学生の就職志向」

講 師：福田 敏行 氏

(就職キャリア支援部長)

小林 宣子 氏

(就職キャリア支援事務長)

明治大学の女性の就職率は90%を超えている中で、Uターン就職率は15~20%程度の水準に留まっている。栃木県出身学生のUターン就職は約18%で、主な就職先は上場会社・公務員となっている。全体的にUターン希望者は少ないのが現状となっている。



調査会社が女子学生を対象にアンケートを実施した中で、「行きたくない会社」として①休日・休暇をとりにくい②待遇に男女差別がある③福利厚生が不十分という結果がある。そこから、近年の女子学生は「仕事と家庭をバランス良く働く」ということ希望していることが見えてくる。つまり、企業側の女性の受入体制を重視していることから、女性が安心して働ける職場づくりをすることが重要であると思われる。また、学生は企業イメージを重視することから、栃木県の企業が「女性

が活躍できる職場、出産後も安心して働ける職場」ということをPRすることは、Uターン就職を促す手段として有効なのではないか。本校は栃木県労働政策部と就職支援に関する覚書を締結する等、栃木県との関わりも深いことから、引き続き栃木県内企業へのU・I・Jターン就職について協力をしていきたい。

(第二部)

視察先：栃木県育英会学生寮

演 題：「とちぎで働くということ」

対 象：学生寮の女子学生

数年後に就職を控える本県出身女子学生たちと「とちぎで働くこと」についてグループディスカッションを実施し、貴重な意見を多数いただいた。女子学生たちの主な意見は以下の通りであった。

- ・東京に来て栃木の良さに気付いた。
- ・栃木に戻って働きたいが、どんな企業・職種があるか分らない。
- ・どこに栃木の企業の情報があるか分らない。
- ・親から「栃木には就職先が無い」と言われ、先入観を持ってしまう。
- ・出産後も働きたいが、東京で働く待機児童問題もあり働き続けるのは難しいと思いはじめた。
- ・東京には企業がたくさんあるので、企業・業種の選択肢が多数ある。
- ・競争の厳しい東京に就職し、自分の可能性に挑戦したい。他



～最後に～

今回の視察で東京圏の女子学生の就職志向や、本県出身の女子学生の考えを直接聞くことが出来たことなど、非常に有意義な視察となった。

## 経営問題委員会 第4回委員会 大阪視察

委員長 吉原 正博 (㈱カナメ 代表取締役)

日時：平成28年3月16日(水)～17日(木)  
場所：㈱大阪ケイオス、メビック扇町  
参加者：10名

「中小企業間の連携強化」をテーマにしている当委員会では、中小企業の連携を多面的に学ぶことを目的に第4回委員会「大阪視察」を行った。

### (第一部)

視察先：㈱大阪ケイオス

内容：大阪ものづくり企業の連携について

講師：和泉 康夫 氏 (代表取締役社長)



当社は、東大阪市の中小企業の企業連携に取り組む企業として10社が連携し2010年に設立した。現在は20数社に増えている。名前の由来は「CHAOS (カオス・混沌)」だが、一人ひとりがその中から新しいものを創造していきたいという思いが込められている。当社が最初に取り組んだ事業は映像制作にかかるものであった。そこには、製品だけでなく社長の思いや職場の雰囲気など企業の個性がストーリーとして語られており、映像を見た人にインパクトを与えるものとなっている。このような“ものがたり”の映像化から始まり、現在は人材採用・育成、共同受注、製品開発など、様々な企業連携の場として発展してきている。このように、当社は様々な活動を行い「ものづくり」を“ものがたり化”する戦略的な連携体であり、これからの中小

企業連携が目指す姿の一つではないかと考えている。



### (第二部)

視察先：メビック扇町

内容：クリエイターと異業種の連携事業

講師：堂野 智史

(所長・チーフコーディネーター)



メビック扇町は、大阪で活動するクリエイターの異業種・異分野の人たちとの連携をコーディネートする施設。ここから生まれた新しい価値を創造するビジネスやプロジェクトは2003年5月から累計で2,000件を超えている。今後も、ものづくり企業などとのマッチングにより、クリエイターの創造力やデザイン力を活かした新たな製品・サービス開発を促進し、市場開拓することにより大阪経済の活性化につなげていきたい。

### ～最後に～

関東と異なる商習慣と言われる大阪での中小企業連携に関する視察は新鮮な部分もあったが、企業経営という本質的な部分は同じであった。「ヒト・モノ・カネ」という限られた資産を連携により最大限とすることの重要性を再確認した。限られた時間であったが、非常に濃密で有意義な視察となった。

## 会務報告

平成28年1月～平成28年3月（敬称略）

内容・日時	議事・報告等	出席者
未来経営研究会 第2回総会 平成28年1月20日(木) 16:30～17:30	(1) 平成28年度事業計画（案）について (2) 講話：学校法人アジア学院 校長 荒川 朋子 氏	26名
第4回行財政改革委員会 平成28年2月25日(木) 16:00～17:30	(1) 今後の方向性（提言書取りまとめに向けて）（案）について (2) 平成29・30年度以降の委員会の在り方について	10名
県政記者会との意見交換会 平成28年2月26日(金) 18:30～20:30	(1) 公益社団法人栃木県経済同友会の活動内容について (2) 意見交換会	27名
第6回企画運営委員会 平成28年2月10日(木) 15:00～16:30	検討事項 (1) 平成28年度事業計画・収支予算（案）について (2) 平成29・30年度以降の委員会体制（案）について (3) 平成28年度第1回ゴルフ大会（案）について (4) 平成28年度サマーセミナー開催場所（案）について (5) 第2回4経済同友会交流会（案）について	20名
第2回全国経済同友会 セミナー準備委員会 （3部会開催） 平成28年2月10日(木) 16:30～17:30	検討事項 (1) 第2回4経済同友会交流会の詳細等（案）について	16名
第4回国際化推進委員会 平成28年3月2日(木) 16:00～17:30	検討事項 (1) 三重県視察報告 (2) 国際化推進委員会の今後の活動について	23名
第7回企画運営委員会 平成28年3月3日(木) 15:00～17:00	検討事項 (1) 平成28年度事業計画・収支予算（案）について (2) 平成28・29年度の委員会の在り方（案）について (3) 平成28年度企画運営委員会活動計画（案）について 報告事項 第2回4経済同友会交流会について	17名

## ボランティアプロフェッサー講師派遣事業

（1～3月）

○宇都宮大学 工学部〔講座名：経営工学序論〕		
1月19日(火)	東京ガス(株) 支社長 堀内 忠 氏	80名
1月26日(火)	東京ガス(株) 支社長 堀内 忠 氏	80名

## 新しい仲間たち

### ●新入会員（敬称略・氏名50音順）

・平成28年3月11日 平成27年度第6回理事会での新規入会者

#### 1. 会員

	<p>いとう しょうじ 伊藤 正二 インフェック(株) 代表取締役会長</p> <hr/> <p>紹介者 石川 英一</p>		<p>おがわ たかし 小川 貴志 (株)日本旅行 宇都宮支店 支店長</p> <hr/> <p>紹介者 伏木 昌人</p>
	<p>なか ざと ざとし 中里 聡 中里建設(株) 代表取締役</p> <hr/> <p>紹介者 遠藤 栄</p>		<p>みや た めぐみ 宮田 めぐみ サンクレール(株) 代表取締役</p> <hr/> <p>紹介者 浜村 智安</p>

### ●会員の交代（敬称略・氏名50音順）※平成28年3月末日までの交代

	<p>まつ もと はる え 松本 春枝 日本放送協会 宇都宮放送局 局長</p> <hr/> <p>変更前 田野辺隆男</p>		<p>まつ たに まさ あき 松谷 正明 マニー(株) 取締役兼執行役会長</p> <hr/> <p>変更前 松谷 貫司</p>
--	---	--	--

### ●会員の退会（敬称略・氏名50音順）※平成28年3月末日までの退会

- ・稲見 京二（三高物産(株) 取締役会長）
- ・市田 侑三（(株)想石 代表取締役）
- ・岡田 篤（(株)ダイセキMCR 代表取締役）
- ・岸 秀一（(株)ノア 代表取締役）
- ・早乙女 勇（(株)上原園 代表取締役）
- ・高尾 初枝（(株)開倫塾 塾長室室長）
- ・土屋 修（(株)宮食 代表取締役）

※平成28年3月末日現在の会員数は266名、準会員数は8名です。

引続き会員増強にご協力願います。

#### 訃報

当会の名誉会員である「鈴木 貞夫様（(株)スズテック 代表取締役）」が平成28年2月19日にご逝去されました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## ●事務局の異動

### 退任者

	<p>退任  <small>た くち たか ひで</small>  <b>田 口 貴 秀</b></p> <p>任 期：平成25年4月～平成27年3月          派遣元：栃木銀行</p>	<p>2年間、委員会活動等の事業に携わり、貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。今後の企業活動においても貴重な経験を活かしたいと思います。これまで温かくご指導頂きありがとうございました。会員の皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。</p>
	<p>退任  <small>た むら のり あき</small>  <b>田 村 宣 明</b></p> <p>任 期：平成27年4月～平成28年3月          派遣元：栃木県職員（教員）</p>	<p>1年間の研修期間を終了し、この3月で下野市立国分寺小学校へ帰任することとなりました。教員の世界では決して味わえない貴重な経験ができたこと、また、すばらしい会員の皆様と出会えたことが、私の何よりの宝物です。会員の皆様に、様々な場面で御指導、御支援を頂いたことに、心より感謝申し上げます。大変にありがとうございました。</p>

### 新任者

	<p>新任  <small>はん だ てつ お</small>  <b>半 田 徹 郎</b></p> <p>任 期：平成28年4月～平成30年3月          派遣元：栃木銀行</p>	<p>この度は、同友会の一員として栃木県産業界を代表する方々と、栃木県の発展という大テーマのもと業務に携われる事を、大変光栄に思います。産業政策委員会と未来経営研究会を担当します。一日も早く仕事に慣れ、組織の一員として役に立てるよう努力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。</p>
	<p>新任  <small>ほし</small>  <b>星 ひろ子</b></p> <p>任 期：平成28年4月～平成29年3月          派遣元：栃木県職員（教員）</p>	<p>田村の後任として、さくら市立熟田（にいた）小学校より赴任して参りました。社会貢献活動推進委員会・栃木交流研究会を担当させて頂きます。栃木愛あふれる会員の皆様の御指導のもと、同友会の組織の一員として寄与できるように、誠心誠意努めて参りたいと思います。何卒御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。</p>